



## 2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年1月31日

上場会社名 野崎印刷紙業株式会社  
コード番号 7919 URL <https://www.nozakiinsatu.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 隆男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 内藤 孝憲

TEL 075-441-6965

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	11,244	3.4	625	19.5	673	21.0	443	2.2
2024年3月期第3四半期	10,864	5.6	523	60.0	556	55.5	454	68.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 456百万円 (0.3%) 2024年3月期第3四半期 455百万円 (62.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	26.68	
2024年3月期第3四半期	26.55	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	11,030	4,560	39.3	263.23
2024年3月期	10,752	4,274	37.7	241.82

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 4,340百万円 2024年3月期 4,057百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		2.50		5.00	5.00
2025年3月期(予想)				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,700	3.8	630	1.4	679	1.7	467	18.5	27.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	21,460,000 株	2024年3月期	21,460,000 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	4,970,657 株	2024年3月期	4,682,528 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	16,633,410 株	2024年3月期3Q	17,107,768 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇の影響がありましたが、雇用・所得環境の改善が続き、景気は回復基調となりました。しかしながら一方で、中国経済の停滞、ロシア・ウクライナ問題の長期化や中東地域をめぐる不安定な国際情勢、円安基調の為替などによる原材料価格やエネルギー価格の高騰、国内においては2024年問題に起因する物流費や物価、利上げによる金利の上昇など依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループは、2024年度から2026年度の3か年を対象とする中期経営計画「nozaki2024/2026 “SHINKA”」を策定し、現状からの脱却に主眼を置き3つの意味を持たせた「進化（アイデアと技術革新による新たな価値創造）」「深化（知識や技術に磨きをかけた組織・事業の成長）」「伸化（時代の変化に対応し成長分野の市場開拓）」を当社のあるべき姿とし、主力商品の売上成長、競争優位性の強化、生産効率の改善によるローコストオペレーションの追求、人的資本の強化、資本効率の向上と資産効率の最適化により企業価値の向上を進めております。

このような状況のなか、継続的に続けてきた「印刷×DX」の取り組みによる既存製品の高付加価値化、主力商品である包装資材及び紙器、紙工品や情報機器及びサプライ品部門の売上高は、好調に推移いたしました。利益につきましては、原材料価格の高止まりに加え、物価上昇・人材確保を目的とした人件費の上昇が収益を圧迫したものの、増収効果により営業利益、経常利益は改善しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額が増加した事により減少いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は112億44百万円（前年同期比3.4%増）となり、営業利益は6億25百万円（前年同期比19.5%増）、経常利益は6億73百万円（前年同期比21.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億43百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

なお、当社グループは、印刷事業セグメントのみであるため、事業部門別の売上概況を示せば、次のとおりであります。また、利益については管理上、部門別には把握しておりません。

#### ①商業印刷部門

当部門の図録やカタログ・パンフレット類は、各企業・団体の製作部数の抑制や展示会向けの需要が減少したものの、官公庁関連向けの受注の増加により、この部門全体の売上高は8億78百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

#### ②包装資材及び紙器、紙工品部門

当部門の伝票類は、新規物件の受注が寄与し増加しました。包装紙・紙袋類は、円安効果を背景としたインバウンド需要の増加などによる百貨店等流通業界・小売業界の需要増を期待していましたが、ギフト・お土産品の需要増に結びつかず、減少傾向が見られたことなどにより減少しました。紙器は、物流業界向け包材や化粧品・食品業界向け等を中心に需要が堅調に推移したことや新規案件の受注が増加するなどの効果により、この部門全体の売上高は65億21百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

#### ③情報機器及びサプライ品部門

当部門のタグ・ラベルは、輸送機器業界向け、食品業界向け等の回復基調を背景に需要が堅調に推移したこと、物流業界向けやECサイト向けのデータプリント事業の受注が伸びたことなどにより増加しました。情報機器類におきましては、中型プリンター等のリプレイス需要が一段落したことに加え、特注プリンターの一時的な需要の調整が影響したことなどにより減少したものの、カスタマイズ機の需要が増加したことなどにより、この部門全体の売上高は33億64百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

#### ④その他の部門

当部門の化成品は、物流関係向けのチケットパックの需要が減少したことや新型コロナウイルス感染症対策の衛生関連商品の受注が減少したこと、電子部品向けの需要が減少したことなどにより、この部門全体の売上高は4億80百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億78百万円増加の110億30百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ26百万円増加の53億31百万円となりました。これは現金及び預金が2億65百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が2億34百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億52百万円増加の56億98百万円となりました。これは建設仮勘定が1億19百万円減少したものの、機械装置及び運搬具が3億67百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ7百万円減少の64億69百万円となりました。これは長期借入金が2億70百万円、支払手形及び買掛金が2億1百万円、短期借入金が1億25百万円増加したものの、電子記録債務が5億28百万円、賞与引当金が1億19百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億86百万円増加の45億60百万円となりました。

これらの結果、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末に比べ21円41銭増加の263円23銭となり、自己資本比率は39.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期業績予想につきましては、2024年4月26日に公表いたしました業績予想に変更はございません。  
※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,634,641	1,369,282
受取手形及び売掛金	2,149,808	2,383,924
電子記録債権	301,396	344,622
商品及び製品	725,768	707,172
仕掛品	282,009	235,529
原材料	178,620	243,931
その他	34,543	48,900
貸倒引当金	△1,470	△1,908
流動資産合計	5,305,318	5,331,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,415,062	1,422,885
機械装置及び運搬具（純額）	1,580,562	1,947,973
土地	1,603,413	1,603,413
建設仮勘定	205,889	86,198
その他（純額）	115,996	131,919
有形固定資産合計	4,920,924	5,192,390
無形固定資産	12,138	7,208
投資その他の資産		
投資有価証券	261,999	278,323
その他	256,270	221,083
貸倒引当金	△4,544	△217
投資その他の資産合計	513,725	499,190
固定資産合計	5,446,787	5,698,789
資産合計	10,752,106	11,030,244

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	937,469	1,139,126
電子記録債務	2,579,257	2,050,834
短期借入金	995,000	1,120,000
未払法人税等	119,407	116,550
賞与引当金	199,466	79,641
災害損失引当金	6,546	5,228
その他	480,844	512,106
流動負債合計	5,317,991	5,023,487
固定負債		
長期借入金	1,016,000	1,286,000
退職給付に係る負債	8,637	10,080
その他	134,697	149,874
固定負債合計	1,159,335	1,445,954
負債合計	6,477,326	6,469,442
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,570,846	1,570,846
資本剰余金	810,958	810,958
利益剰余金	2,606,414	2,925,515
自己株式	△1,010,927	△1,055,588
株主資本合計	3,977,291	4,251,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,994	88,791
その他の包括利益累計額合計	79,994	88,791
非支配株主持分	217,493	220,279
純資産合計	4,274,780	4,560,802
負債純資産合計	10,752,106	11,030,244

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	10,864,499	11,244,529
売上原価	8,743,539	8,946,497
売上総利益	2,120,960	2,298,032
販売費及び一般管理費	1,597,601	1,672,099
営業利益	523,358	625,932
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,636	4,512
不動産賃貸料	28,128	47,332
その他	6,587	5,968
営業外収益合計	39,353	57,813
営業外費用		
支払利息	4,319	7,427
手形売却損	1,600	2,389
その他	667	678
営業外費用合計	6,586	10,495
経常利益	556,125	673,250
特別利益		
固定資産売却益	224	—
投資有価証券売却益	22,306	—
特別利益合計	22,531	—
特別損失		
固定資産処分損	11,457	10,005
特別損失合計	11,457	10,005
税金等調整前四半期純利益	567,199	663,245
法人税、住民税及び事業税	102,833	171,237
法人税等調整額	△812	43,837
法人税等合計	102,021	215,075
四半期純利益	465,177	448,169
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,918	4,255
親会社株主に帰属する四半期純利益	454,259	443,914



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	465,177	448,169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,742	8,796
その他の包括利益合計	△9,742	8,796
四半期包括利益	455,435	456,966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	444,517	452,711
非支配株主に係る四半期包括利益	10,918	4,255

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	466,233千円	465,155千円

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、印刷事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。